

次世代を担うSC 経営者層の育成を目指す
SC 業界唯一のビジネススクール

SC ACADEMY

SCアカデミー

第15期生募集案内

2021年4月～2022年3月

◆受講のおすすめ

当協会は、1973年に設立以来、業界の人材育成に重点を置き、現在までセミナー、海外研修、通信教育などの各種プログラムを実施し、SC業界の人材育成に寄与して参りました。

2007年に次世代のSC 経営者層の育成を目的として、SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流、将来動向についても理解を深めていただくためのプログラム「SCアカデミー」を創設し、これまでに510名が卒業されました。

現在14期生42名が在学中ですが、このほど第15期生の募集を行うことになりました。

つきましては、貴社の次世代を担う人材の教育機関として、本SCアカデミーを活用していただけますようご案内申し上げます。

◆目的と特色

1. 次世代を担うSC 経営者層の養成を目的とします。
2. SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流、将来動向についても理解を深めていただけます。
3. ワンウェイでなく、“考える力”をつける授業です。また、講師は各コースの指導教授の他に、各分野で活躍されているゲスト講師をお招きします。
4. 長期のプログラムですので、受講生相互の情報交換やネットワークづくりに役立ちます。

● SC序論 (合宿研修)

Curriculum

指導教授/小嶋 彰 (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役(SC経営士)

| 日程 | 単元 | 課 目 | 内容と目的 |
|------------|----|--|---|
| 4/8 (木) | 1 | 合宿研修について | 合宿研修の目的 他 |
| | 2 | SC序論 | 曲がり角の日本型SCのビジネスモデル |
| | 3 | ゲスト講師 | 調整中 |
| | 4 | 学び(独学)とリベラルアーツと旅する力 -社会構造の大変革期に生き延びる力を生み出す- | SCアカデミーでいかに学び、自己創発力をどう鍛え、次代のSCへの構想力を涵養するか。 |
| | 5 | 環境革命世紀の都市と商業 | 今世紀最大の課題「環境」に対し、我々はどうの位置に立ち、また何をすべきなのか？ 商業環境やSCを取り巻く様相を、歴史的・批評的・包括的に俯瞰しながら、このアポリアへの 展望を示す。ここでは主として交通・速度・テクノロジーに支配される現代都市問題、環境の現 況と環境認識の方法、2030年SDGs、古今東西の環境プロジェクト、エネルギーと環境の関係性、 環境の見える化などを題材として展開する。 |
| | 6 | SCアカデミーを100倍楽しむ方法 夕食会(交流会) | 問題意識の持ち方やグループディスカッションの意義など、受講のコツについてお話しします。 |
| 4/9 (金) | 7 | SCのリポジショニング | コロナ禍で仕切り直しとなった環境を踏まえ、SCの新たな役割やビジネスモデルの見直しを 検索する。 |
| | 8 | 経済社会における小売商業の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ●アフターコロナにおける商業施設の対応 ●家計消費構造の変化(アップデート) ●インバウンド戦略の今後の方向性 ●リアル商業とICTの融合課題と今後の方向性 ●地域活性化における商業施設の役割 ●観光要素付加による商業施設の活性化策 |
| | 9 | ゲスト講師 | 調整中 |
| | 10 | グループディスカッション | グループに分かれ、与えられたテーマ、課題についてグループ内でディスカッションを行い、 まとめ発表する。 |
| | 11 | 総 括 | 合宿研修のまとめと今後の研修への期待 |

● SC総論 I

Curriculum

指導教授/望月 照彦 構想博物館 館主・多摩大学 名誉教授・エッセイスト

| 日程 | 単元 | 課 目 | 内容と目的 |
|-------------|----|---|--|
| 4/16 (金) | 1 | 現代社会におけるSCの必要不可欠なポジショニングと 存在価値創造への美装的アプローチ論 | <ul style="list-style-type: none"> ●SCの持つ存在課題を探る ●人々(市場)はSCに何を求めているのか ●社会動感との齟齬をどう克服するか |
| 4/23 (金) | 2 | 上記の課題についてアカデミー生自身が個人として、 グループとして主体的に考察し、議論し、発表する | <ul style="list-style-type: none"> ●個人的思惟の場 ●クロスインパクトディスカッション ●事業プレゼンテーション |
| 5/7 (金) | 3 | SCを経営・運営する組織と、それにかかわる個人がどう主体化するか、 新たな企業組織論と、事業発想の思惟・意思決定論 | <ul style="list-style-type: none"> ●先端企業理念、経営思想の検証 ●会社と組織のダイナミズムの分析 ●事業イノベーションの環境創造 |
| 5/14 (金) | 4 | 上記の課題についてアカデミー生自身が個人として、 グループとして主体的に考察し、議論し、発表する | <ul style="list-style-type: none"> ●個人的思惟の場 ●クロスインパクトディスカッション ●事業プレゼンテーション |
| 5/21 (金) | 5 | データキャピタリズムの時代の、デジタルとリアル(アナログ)との、 新たな融合とニューヒューマニゼーション論 | <ul style="list-style-type: none"> ●データ資本主義の現実とは ●デジタルとリアルのマージ戦略とは ●新たなヒューマニゼーションの考察 |
| 5/28 (金) | 6 | SC存在の「エマージェンス(脱皮)・イノベーションは可能か」を巡って、 講師陣とアカデミー生との、クロスインパクトミーティングを展開する | <ul style="list-style-type: none"> ●講師陣によるショートスピーチ ●グループによるクエショニアの案出 ●クロスインパクトミーティング |

● SC総論 II

Curriculum

指導教授/彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授・日本建築家協会会員

| 日程 | 単元 | 課 目 | 内容と目的 |
|-------------|----|-------------------------------------|--|
| 6/4 (金) | 1 | エリアマネジメントの現代的位相 | <スクール講座形式> 街とSCの再生を国内外の先進的事例を中心に紹介しながら、その方策、キーワード、意味、課 題などを包括的に分析し、都市事象のデータ化やその言語化の重要性、そして実践的なマネジ メント推進方法を展開する。 |
| 6/11 (金) | 2 | 知識社会のなかのSCとその可能性 | <クロストーク形式> コミュニケーションのあり方、メディアの機能、技術革新、偏在資本、そして人間や人間活動 そのものへの認識を深めるとともに、時代を透視する考え方をインタージャンルの横断渉 猟しながら、創造的価値の問題をSCを媒体に追求する。 |
| 6/18 (金) | 3 | ランドスケープとSCの相互交通 | <スクール講座形式> ランドスケープの概念、ランドスケープと都市創造・地域創造の問題を紹介するとともに、今 後重要になるSCにおけるランドスケープ価値やランドスケープ的視野で捉えたSCの可能性、 景観創造、まちづくり、エコロジーの実践的展開などについて考察する。 |
| 6/25 (金) | 4 | 万博都市 vs SC | <クロスインパクトディスカッション形式> 万博、テーマパーク、SC、パサージュなどの商業環境、現代建築・現代都市の考現学をめぐる ショートレクチャー、受講生のプレゼンテーションとそれに対するレビューにより構成。 |
| 7/2 (金) | 5 | 集客装置としての商業環境 | <スクール講座形式> 集客や滞留、さらには顧客参加者の支持を得るイベント創造の歴史的・同時代的事例や、その 制作論、プロデュースの意味、そして地域創生との関係などにフォーカスを当てながら、商業 環境の魅力やレジリエンスを高めるあり方について深耕する。 |
| 7/9 (金) | 6 | パネルディスカッション 「リベラルアーツをSC創造に結びつける」 | <パネルディスカッション形式> 最前線で活躍する外部ゲストを招聘し、受講生のプレゼンテーションを含む参加型インタラ クティブなセッション。総論IIの総括も行う。 |

● SC 経営実践論

Curriculum

指導教授／矢木 達也 (株)ビーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長(SC経営士)

| 日程 | 単元 | 課 目 | 内 容 と 目 的 |
|--------------|----|--------------------------------|---|
| 8/20 (金) | 1 | SCのビジネスモデルと事業収支計画 | SCの経営戦略、長期計画から年度予算まで、事業収支計画の立て方、事業性評価などの手法を学ぶ。 |
| 8/27 (金) | 2 | 海外先行事例から学ぶ新たなSC開発 デジタルとSC | デジタル時代のSC開発、運営。空間やデザインなども含め、ネットにはかなわないリアル場づくりを探る。 |
| 9/3 (金) | 3 | 地方商店街の活性化事例から学ぶ | 地方商店街の活性化、まちおこしの事例などを学び、SCにも活かせるヒントを考える。 |
| 9/24 (金) | 4 | SCの再生とバリューアップ | アセットマネジメント視点からSCのバリューアップ、価値向上の具体策を知る。 |
| 10/1 (金) | 5 | SCの新たなパートナー探し ー サービスコンテンツ ー | 新たな集客コンテンツなどSCの複合ポテンシャルを探る。 |
| 10/22 (金) | 6 | SCの新たなパートナー探し ー D2C リテラー ー | スタートアップ系、D2Cなど成長が期待できる新しいリテラーを知る。 |
| 10/29 (金) | 7 | まとめ ー 次世代SCの仮説づくり ー | グループ別ディスカッションとプレゼンテーション |

● 特別演習

Curriculum

指導教授／太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役(SC経営士)

| 日程 | 単元 | 課 目 | 内 容 と 目 的 |
|--------------|----|--|---------------------------------------|
| 9/17 (金) | 1 | 特別演習Ⅰ <講義&ケーススタディ> 「戦略立案に活かすSWOT分析」 | SWOT分析の基本と活用。事例研究 <演習> 商業施設のSWOT分析 |
| 10/15 (金) | 2 | 特別演習Ⅱ <現場実習> 「商業集積視察」 | 現地視察&意見交換 <演習> 首都圏商業施設 |
| 11/12 (金) | 3 | 特別演習Ⅲ <プレゼンテーション> 「商業集積の活性化プラン」 | 活性化プランのプレゼンテーション |

● 特別講義

Curriculum

指導教授／調整中

| 日程 | 単元 | 課 目 | 内 容 と 目 的 |
|-------------|----|-----|-----------|
| 7/16 (金) | 1 | 調整中 | 調整中 |
| 8/6 (金) | 3 | 調整中 | 調整中 |

● ゼミ方式 (いくつかのグループに分ける)

Curriculum

| 日程 | 単元 | 内 容 |
|-------------|----|---------------------------------|
| 7/30 (金) | 1 | 卒論書き方講座、各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他 |
| 9/10 (金) | 2 | 各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他 |
| 10/8 (金) | 3 | 各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他 |
| 11/5 (金) | 4 | 各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他 |

◆第15期 SCアカデミー開催要領

1. 会場 (一社)日本ショッピングセンター協会(東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F)
2. 期間 2021年4月～2022年3月(授業は11月中旬まで実施予定)
3. 時間 金曜日 18:30～20:30 ※授業によって変更になる場合がございます
4. 受講料 440,000円(本体価格400,000円 消費税40,000円)
5. 対象 SC協会会員企業の中堅社員(SC事業に関連した職種で5年以上の実務経験を有すること)
6. 定員 40名以内(定員に達し次第締切とさせていただきます)
7. 担当指導教授(敬称略)

- SC序論(合宿研修/7単元) 小嶋 彰 (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役 (SC経営士)
- SC総論 I (6単元) 望月 照彦 構想博物館 館主・多摩大学 名誉教授・エッセイスト
- SC総論 II (6単元) 彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授・日本建築家協会会員
- SC経営実践論(7単元) 矢木 達也 (株)ピーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長 (SC経営士)
- 特別演習(3単元) 太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役 (SC経営士)
- 指導教授 大甕 聡 (一社)日本ショッピングセンター協会 顧問 (SC経営士)
- 特別講義(2単元)
- ゼミ方式(4単元)

8. お申し込み・お問い合わせ先

(一社)日本ショッピングセンター協会 教育研修部/與田・遠藤^{よでん}
 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F
 TEL. 03-5615-8523 FAX. 03-5615-8539 E-mail. scac@jcsc.or.jp

9. お申し込み締切日

2021年1月31日(日) ※定員に達し次第、締切とさせていただきます。

10. 受講申込者及びご担当者様へ

- 新型コロナウイルス感染症対策として、一部をリモート学習に変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 下記の受講申込書を提出後、①実務経歴書及び所属企業の推薦状と②1,200字程度の小論文(何を学びたいか、受講の目的)の提出をお願いいたします。受講申込者については、①実務経歴書、②小論文に基づいて、入学の審査を行います。審査の結果によっては、受講をお断りする場合がありますので、ご了承ください。審査結果は、2月の末にご連絡いたします。協会事務局より受講申込書を提出後に、①のフォーマットのデータをお送りいたします。①、②につきましては、2021年2月4日(木)までに必ずご提出願います。
- 開催期間中に受講生が何らかの理由で辞退されても、受講料は返金いたしませんので、ご了承ください。
- 本アカデミー修了者は、SC経営士二次試験が免除になります。

----- キリトリ線 -----

<FAX:03-5615-8539> 與田・遠藤 行

2021年4月～2022年3月

SCアカデミー第15期受講申込書

企業名: _____ 担当者部署: _____ 担当者名: _____
 〒 _____ TEL: _____
 住所: _____ FAX: _____ E-mail: _____ @ _____

| 受講者名 | 部署・役職 | E-mail |
|------|-------|--------|
| フリガナ | | @ |
| フリガナ | | @ |

※振込銀行名: _____ 銀行 _____ 店から _____ 銀行(協会指定)へ _____ 月 _____ 日振込予定

個人情報の利用目的について

当協会は、今回取得します皆様の個人情報を主に「SCアカデミー」を実施するために利用します。その円滑な実施のために名簿を作成して、参加者や講師に配布します。詳細は当協会ホームページを参照ください。 <http://www.jcsc.or.jp/>